

「AI 活用ハンズオン・セミナー」セミナー概要

「人口知能を（AI）を活用した新しいサービスやアプリケーションを開発しよう」企画趣旨

・人工知能(AI)や機械学習といった用語が注目される中で、「興味はあるけれど難しそう」と感じている開発者の方が多いのではないのでしょうか？ Microsoft Cognitive Services は、視覚、音声、言語、知識等に関する人工知能(AI)の部品が Web API として用意され、開発者の皆様が AI を簡単に利用できる環境が提供されています。

本セミナーでは、AI を「作る」のでは無く「使う」という切り口で、AI を取り入れたサービスやアプリケーションをスピード開発するための方法を、ハンズオン形式で学んで頂きます。

講師

東京エレクトロン デバイス株式会社

IoT カンパニー エンベデッドソリューション部

フィールドアプリケーションエンジニア

Microsoft MVP for Windows Development (Windows Embedded/IoT)

茂出木 裕也 氏

アジェンダ・タイムスケジュール

平成 29 年 9 月 8 日

10:00 – 11:30 (セミナー パート)

・Microsoft Azure の概要

・Microsoft Azure が提供する人工知能(AI)と機械学習(ML)

・Cognitive Services で何が出来る？ 利用可能な API のデモと解説

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/services/cognitive-services/>

・Cognitive Services API を活用したアプリケーション開発の概要

12:30 – 17:00 (ハンズオン パート)

・Computer Vision API による画像判定

- 画像を分析してさまざまな情報を抽出
- OCR(Optical Character Recognition)で画像に含まれる文字データ読み取り

- Face API による顔識別
 - 画像に含まれる顔の検出や、年齢、性別の判定
- Emotion API による感情判別
 - 画像の人物から感情(喜び、驚き、悲しみ、怒りなど)を判別
- Custom Vision Service による画像認識エンジンの自作
 - 画像データを学習させて、独自の AI を作る
- Bing Speech API による音声処理
 - Speech Recognition で音声をテキストへ変換
 - Text-to-Speech でテキストから音声へ変換
- Translator Text API による言語処理
 - テキストの翻訳機能を実装

参加条件 必要となるスキル

- Visual Studio を使ったアプリケーションの開発経験があること (C# 言語を使用します)

事前準備等

- PC の持ち込み
 - Visual Studio 2017(※) をインストールした Windows 10 PC
 - Wi-Fi 接続できること
 - カメラとマイクが使用できること
 - ※無償版の Visual Studio 2017 Community エディションでも可能です
 - 【ダウンロード URL】
 - <https://www.visualstudio.com/ja/downloads/>
- Microsoft Azure のアカウント
 - 申込者にセミナー開講時に Azure のアカウントをご提供します。
 - Azure の利用料金 10,000 円分 (9 月末までの期間限定) が付いています。